【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和4年5月30日(2022.5.30)

【国際公開番号】WO2019/229658
【公表番号】特表2021-525510(P2021-525510A)
【公表日】令和3年9月27日(2021.9.27)
【出願番号】特願2020-566241(P2020-566241)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ 15/13(2006.01)
Ｃ０７Ｋ 16/40(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/864(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/867(2006.01)
Ｃ１２Ｐ 21/08(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 1/15(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 1/19(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 1/21(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 5/10(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/7088(2006.01)
Ａ６１Ｋ 35/76(2015.01)
Ａ６１Ｋ 35/761(2015.01)
Ａ６１Ｋ 35/763(2015.01)
Ａ６１Ｋ 35/765(2015.01)
Ａ６１Ｋ 35/12(2015.01)
Ａ６１Ｐ 35/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/19(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/519(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/522(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/5377(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/506(2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ 15/13
Ｃ０７Ｋ 16/40 ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ 15/8641００Ｚ
Ｃ１２Ｎ 15/867 Ｚ
Ｃ１２Ｐ 21/08
Ｃ１２Ｎ 1/15
Ｃ１２Ｎ 1/19
Ｃ１２Ｎ 1/21
Ｃ１２Ｎ 5/10
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｄ
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｎ
Ａ６１Ｐ 43/00 １１１
Ａ６１Ｋ 31/7088
Ａ６１Ｋ 35/76
Ａ６１Ｋ 35/761

Ａ６１Ｋ ３５/７６３
Ａ６１Ｋ ３５/７６５
Ａ６１Ｋ ３５/１２
Ａ６１Ｐ ３５/００
Ａ６１Ｋ ４５/００
Ａ６１Ｋ ３８/１９
Ａ６１Ｐ ４３/００ １２１
Ａ６１Ｋ ３１/５１９
Ａ６１Ｋ ３１/５２２
Ａ６１Ｋ ３１/５３７７
Ａ６１Ｋ ３１/５０６
Ａ６１Ｐ ３７/０４

【手続補正書】
【提出日】令和４年５月２０日(２０２２.５.２０)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に特異的に結合する抗体又はその抗原結合断片であって、前記抗体又はその抗原結合断片が、表１に提供される任意の抗体又は抗原結合断片の重鎖相補性決定領域１（ＨＣＤＲ１）、重鎖相補性決定領域２（ＨＣＤＲ２）、重鎖相補性決定領域３（ＨＣＤＲ３）、軽鎖相補性決定領域１（ＬＣＤＲ１）、軽鎖相補性決定領域２（ＬＣＤＲ２）、及び軽鎖相補性決定領域３（ＬＣＤＲ３）を含む、抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２】
前記ＨＣＤＲ１、ＨＣＤＲ２、ＨＣＤＲ３、ＬＣＤＲ１、ＬＣＤＲ２、及びＬＣＤＲ３が、表１に提供されるＨＣＤＲ１、ＨＣＤＲ２、ＨＣＤＲ３、ＬＣＤＲ１、ＬＣＤＲ２、及びＬＣＤＲ３配列から選択される、請求項１に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項３】
前記抗体又はその抗原結合断片が、表１に提供される重鎖可変領域を含む、請求項１又は請求項２に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項４】
前記抗体又はその抗原結合断片が、表１に提供される軽鎖可変領域を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項５】
前記抗体又はその抗原結合断片が、以下の任意の１つ：
１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号５を含むＨＣＤＲ２配列、

配列番号３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１９を含むＬＣＤＲ３配列；
３）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
４）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号３８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
５）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
６）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４４を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号４５を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５６を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
７）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号３８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６１を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
８）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
９）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４４を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号４５を含むＨＣＤＲ３配列、

配列番号６３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
１０）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号３８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
１１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
１２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４４を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５６を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
１３）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号８２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号８４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号９５を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９６を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号９７を含むＬＣＤＲ３配列；
１４）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号８５を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８６を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号８４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号９８を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１００を含むＬＣＤＲ３配列；
１５）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号８８を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８９を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号９０を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１０１を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号９７を含むＬＣＤＲ３配列；
１６）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１０６を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１０７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１０８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１１９を含むＬＣＤＲ１配列、

配列番号１２０を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２１を含むＬＣＤＲ３配列；
１７）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１０９を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１１０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１０８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１２２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２３を含むＬＣＤＲ３配列；
１８）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１１２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１１３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１１４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１２４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２１を含むＬＣＤＲ３配列；
１９）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１０６を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１２９を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１０８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１１９を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１２０を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２１を含むＬＣＤＲ３配列；
２０）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１０９を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１３０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１０８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１２２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２３を含むＬＣＤＲ３配列；
２１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１１２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１３１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１１４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１２４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２１を含むＬＣＤＲ３配列；
２２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１３６を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１３７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１３８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１４９を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５０を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１５１を含むＬＣＤＲ３配列；
２３）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１３９を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１４０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１３８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１５２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５３を含むＬＣＤＲ２配列、及び

配列番号１５４を含むＬＣＤＲ３配列；
２４）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１４２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１４３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１４４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１５５を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５３を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１５１を含むＬＣＤＲ３配列；
２５）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１６０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１６１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１６２を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５０を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１７４を含むＬＣＤＲ３配列；
２６）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１６３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１６４を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１６２を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７５を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５３を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１７６を含むＬＣＤＲ３配列；
２７）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１６６を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１６７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５３を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１７４を含むＬＣＤＲ３配列；
２８）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２２１を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６１を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
２９）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２２を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２２１を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
３０）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２２４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；

３１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６１を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
３２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２２を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
３３）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
３４）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４５を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２４６を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２５４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号２５５を含むＬＣＤＲ３配列；
３５）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２４６を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号２５６を含むＬＣＤＲ３配列；
３６）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２４９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号２５５を含むＬＣＤＲ３配列；
３７）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２６１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２６２を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２５４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
３８）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：

配列番号４を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２６２を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１９を含むＬＣＤＲ３配列；
３９）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２６３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
４０）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号２７２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２７３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２７４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２５４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号２８５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
４１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号２７５を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２７６を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２７４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号２８６を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１９を含むＬＣＤＲ３配列；
４２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号２７８を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２７９を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２８０を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号２８６を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列
から選択される、請求項１又は請求項２に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項６】
前記抗体又はその抗原結合断片が、以下の任意の１つ：
１）配列番号１０又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖可変領域（ＶＨ）、及び配列番号２１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖可変領域（ＶＬ）を含む抗体又はその抗原結合断片；
２）配列番号２５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
３）配列番号３３又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
４）配列番号４６又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号５７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
５）配列番号４６又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号

６４又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
６）配列番号７０又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号７４又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
７）配列番号２５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号７８又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
８）配列番号９１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１０２又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
９）配列番号１１５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１２５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１０）配列番号１３２又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１２５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１１）配列番号１４５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１５６又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１２）配列番号１６９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１７８又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１３）配列番号２２５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２２９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１４）配列番号２３３又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２３７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１５）配列番号２４１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２２９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１６）配列番号２５０又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２５７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１７）配列番号２６４又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２６８又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；又は
１８）配列番号２８１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２８７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片
から選択される、請求項１～５のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項７】
抗体又はその抗原結合断片が、以下の任意の１つ：
１）配列番号１２又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２３又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
２）配列番号２７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号３１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
３）配列番号３５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号３１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；

４）配列番号４８又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号５９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
５）配列番号４８又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号６６又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
６）配列番号７２又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号７６又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
７）配列番号２７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号８０又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
８）配列番号９３又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１０４又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
９）配列番号１１７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１２７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１０）配列番号１３４又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１２７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１１）配列番号１４７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１５８又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１２）配列番号１７１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１８０又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１３）配列番号２２７又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２３１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１４）配列番号２３５又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２３９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１５）配列番号２４３又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２３１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１６）配列番号２５２又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２５９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１７）配列番号２６６又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２７０又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；又は
１８）配列番号２８３又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２８９又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体
から選択される、請求項１～６のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

【請求項８】

前記抗体又はその抗原結合断片が：
配列番号１を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列
を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

【請求項９】

前記抗体又はその抗原結合断片が：
配列番号４を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号５を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１９を含むＬＣＤＲ３配列
を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

【請求項１０】

前記抗体又はその抗原結合断片が：
配列番号７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列
を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項１１】
前記抗体又はその抗原結合断片が、配列番号１０又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む重鎖可変領域（ＶＨ）、及び配列番号２１又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖可変領域（ＶＬ）を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項１２】
前記抗体又はその抗原結合断片が、配列番号１２又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列、及び配列番号２３又はそれと少なくとも９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項１３】
前記抗体又はその抗原結合断片が、ヒトＥＮＴＰＤ２におけるエピトープに結合し、前記エピトープが、以下の残基：Ｈｉｓ５０、Ａｓｐ７６、Ｐｒｏ７８、Ｇｌｙ７９、Ｇｌｙ８０、Ｔｙｒ８５、Ａｓｐ８７、Ａｓｎ８８、Ｇｌｙ９１、Ｇｌｎ９４、Ｓｅｒ９５、Ｇｌｙ９８、Ｇｌｕ１０１、Ｇｌｎ１０２、Ｇｌｎ１０５、Ａｓｐ１０６、Ａｒｇ２４５、Ｔｈｒ２７２、Ｇｌｎ２７３、Ｌｅｕ２７５、Ａｓｐ２７８、Ａｒｇ２９８、Ａｌａ３４７、Ａｌａ３５０、Ｔｈｒ３５１、Ａｒｇ３９２、Ａｌａ３９３、Ａｒｇ３９４、又はＴｙｒ３９８の少なくとも１つを含む、請求項１～１２のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項１４】
前記抗体又はその抗原結合断片が、ヒトＥＮＴＰＤ２におけるエピトープに結合し、前記エピトープが、以下の残基：Ｇｌｙ７９、Ｇｌｎ２５０、Ｌｅｕ２５３、Ｔｒｐ２６６、Ａｒｇ２６８、Ｇｌｙ２６９、Ｐｈｅ２７０、Ｓｅｒ２７１、Ｔｈｒ２７２、Ｇｌｎ２７３、Ｖａｌ２７４、Ｌｅｕ２７５、Ａｓｐ２７８、Ａｒｇ２９８、Ｓｅｒ３００、Ｓｅｒ３０２、Ｇｌｙ３０３、Ｔｈｒ３８０、Ｔｒｐ３８１、Ａｌａ３８２、Ｇｌｙ３９０、Ｇｌｎ３９１、Ａｒｇ３９２、Ａｌａ３９３、Ａｒｇ３９４、又はＡｓｐ３９７の少なくとも１つを含む、請求項１～１２のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項１５】
ヒトＥＮＴＰＤ２におけるエピトープに特異的に結合する抗体又はその抗原結合断片であって、前記エピトープが、以下の残基：Ｈｉｓ５０、Ａｓｐ７６、Ｐｒｏ７８、Ｇｌｙ７９、Ｇｌｙ８０、Ｔｙｒ８５、Ａｓｐ８７、Ａｓｎ８８、Ｇｌｙ９１、Ｇｌｎ９４、Ｓｅｒ９５、Ｇｌｙ９８、Ｇｌｕ１０１、Ｇｌｎ１０２、Ｇｌｎ１０５、Ａｓｐ１０６、Ａｒｇ２４５、Ｔｈｒ２７２、Ｇｌｎ２７３、Ｌｅｕ２７５、Ａｓｐ２７８、Ａｒｇ２９８、Ａｌａ３４７、Ａｌａ３５０、Ｔｈｒ３５１、Ａｒｇ３９２、Ａｌａ３９３、Ａｒｇ３９４、又はＴｙｒ３９８の少なくとも１つを含む、抗体又はその抗原結合断片。
【請求項１６】
ヒトＥＮＴＰＤ２におけるエピトープに特異的に結合する抗体又はその抗原結合断片であって、前記エピトープが、以下の残基：Ｇｌｙ７９、Ｇｌｎ２５０、Ｌｅｕ２５３、Ｔｒｐ２６６、Ａｒｇ２６８、Ｇｌｙ２６９、Ｐｈｅ２７０、Ｓｅｒ２７１、Ｔｈｒ２７２、Ｇｌｎ２７３、Ｖａｌ２７４、Ｌｅｕ２７５、Ａｓｐ２７８、Ａｒｇ２９８、Ｓｅｒ３００、Ｓｅｒ３０２、Ｇｌｙ３０３、Ｔｈｒ３８０、Ｔｒｐ３８１、Ａｌａ３８２、Ｇｌｙ３９０、Ｇｌｎ３９１、Ａｒｇ３９２、Ａｌａ３９３、Ａｒｇ３９４、又はＡｓｐ３９７の少なくとも１つを含む、抗体又はその抗原結合断片。

【請求項１７】
ヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に対する結合について、表１に提供される任意の抗体又は抗原結合断片と競合する、抗体又はその抗原結合断片。
【請求項１８】
表１に提供される任意の抗体又は抗原結合断片のいずれかのエピトープと同じエピトープ、実質的に同じエピトープ、それと重複するエピトープ、それと実質的に重複するエピトープに結合する、抗体又はその抗原結合断片。
【請求項１９】
前記抗体又はその抗原結合断片が、１０ｎＭ未満の解離定数（K_D）でヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に結合する、請求項１～１８のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２０】
前記抗体又はその抗原結合断片が、５ｎＭ未満の解離定数（K_D）でヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に結合する、請求項１～１８のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２１】
前記抗体又はその抗原結合断片が、３ｎＭ未満の解離定数（K_D）でヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に結合する、請求項１～１８のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２２】
前記抗体又はその抗原結合断片が、ヒトＥＮＴＰＤ２酵素活性を少なくとも４０％、少なくとも５０％、少なくとも６０％、少なくとも７０％、少なくとも８０％、又は少なくとも９０％阻害する、請求項１～２１のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２３】
前記抗体又はその抗原結合断片が、アデノシン三リン酸塩（ＡＴＰ）の加水分解のＥＮＴＰＤ２の能力を阻害する、請求項１～２２のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２４】
前記抗体又はその抗原結合断片が、ＥＮＴＰＤ２へのＡＴＰの結合を妨害し、又はＥＮＴＰＤ２の触媒ドメイン内にＡＴＰを捕捉する、請求項１～２３のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２５】
前記抗体が、ＩｇＧ１、ＩｇＧ２、ＩｇＧ３又はＩｇＧ４アイソタイプを有する、請求項１～２４のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２６】
前記抗体又はその抗原結合断片が、ＩｇＧ１　Ｆｃ領域、ＩｇＧ２　Ｆｃ領域、ＩｇＧ４　Ｆｃ領域、又はＩｇＧ２／ＩｇＧ４ハイブリッドＦｃ領域から選択されるＦｃ領域を含む、請求項１～２５のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２７】
前記抗体又はその抗原結合断片が、前記親抗体と比較して低下した抗体依存性細胞傷害（ＡＤＣＣ）又は補体依存性細胞傷害（ＣＤＣ）活性を有する改変されたＦｃ領域を含む、請求項１～２６のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２８】
前記抗体又はその抗原結合断片が、ヒト又はヒト化抗体又はその断片である、請求項１～２７のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
【請求項２９】
請求項１～２８のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片をコードする核酸又は核酸のセット。
【請求項３０】
請求項２９に記載の核酸又は核酸のセットを含むベクター。

【請求項３１】
前記ベクターが、ＤＮＡベクター、ＲＮＡベクター、プラスミド、コスミド、又はウイルスベクターから選択される、請求項３０に記載のベクター。
【請求項３２】
前記ベクターが、以下のウイルス：レンチウイルス、アデノウイルス、アデノ随伴ウイルス（ＡＡＶ）、単純ヘルペスウイルス（ＨＳＶ）、パルボウイルス、レトロウイルス、ワクシニアウイルス、シンビス（Ｓｉｎｂｉｓ）ウイルス、インフルエンザウイルス、レオウイルス、ニューカッスル病ウイルス（ＮＤＶ）、はしかウイルス、水疱性口内炎ウイルス（ＶＳＶ）、ポリオウイルス、ポックスウイルス、セネカバレー（Ｓｅｎｅｃａ Ｖａｌｌｅｙ）ウイルス、コクサッキーウイルス、エンテロウイルス、粘液腫ウイルス、又はマラバウイルスの任意の１つに基づくウイルスベクターである、請求項３１に記載のベクター。
【請求項３３】
前記ベクターがＡＡＶベクターである、請求項３２に記載のベクター。
【請求項３４】
前記ベクターがレンチウイルスベクターである、請求項３１に記載のベクター。
【請求項３５】
プロモーターをさらに含む、請求項３０～３４のいずれか一項に記載のベクター。
【請求項３６】
検出可能マーカーをさらに含む、請求項３０～３５のいずれか一項に記載のベクター。
【請求項３７】
請求項２９に記載の核酸若しくは核酸のセット又は請求項３０～３６のいずれか一項に記載のベクターを含む細胞。
【請求項３８】
請求項３７に記載の細胞を培養し、前記抗体又はその抗原結合断片を培養培地から収集することを含む、抗体又はその抗原結合断片の産生方法。
【請求項３９】
請求項１～２８のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片、請求項２９に記載の核酸又は核酸のセット、請求項３０～３６のいずれか一項に記載のベクター、又は請求項３７に記載の細胞、及び薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。
【請求項４０】
医薬としての使用のための、請求項１～２８のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片、請求項２９に記載の核酸又は核酸のセット、請求項３０～３６のいずれか一項に記載のベクター、請求項３７に記載の細胞、又は請求項３９に記載の医薬組成物。
【請求項４１】
癌の処置における使用のための、請求項１～２８のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片、請求項２９に記載の核酸、請求項３０～３６のいずれか一項に記載のベクター、請求項３７に記載の細胞、又は請求項３９に記載の医薬組成物。
【請求項４２】
癌の処置のための医薬の製造における、請求項１～２８のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片、請求項２９に記載の核酸、請求項３０～３６のいずれか一項に記載のベクター、請求項３７に記載の細胞、又は請求項３９に記載の医薬組成物の使用。
【請求項４３】
前記癌が、ＥＮＴＰＤ２＋癌である、請求項４１に記載の使用のための抗体、又は請求項４２に記載の使用。
【請求項４４】
前記癌が、結腸直腸癌（ＣＲＣ）、胃癌、食道癌、膵癌、胆管癌、肺癌、乳癌、又は卵巣癌である、請求項４１に記載の使用のための抗体、又は請求項４２に記載の使用。
【請求項４５】
前記抗体又はその抗原結合断片、前記核酸又は核酸のセット、前記ベクター、前記細胞、

又は前記医薬組成物が、静脈内、腫瘍内又は皮下経路を介して前記対象に投与される、請求項４１に記載の使用のための抗体、又は請求項４２に記載の使用。
【請求項４６】
前記抗体分子が、少なくとも１つの追加の治療薬又は手順と組み合わせて投与される、請求項４１に記載の使用のための抗体、又は請求項４２に記載の使用。
【請求項４７】
前記少なくとも１つの追加の治療薬又は手順が、化学療法、標的化抗癌療法、腫瘍溶解性薬物、細胞毒性剤、免疫ベースの治療法、サイトカイン、外科手技、放射線療法、共刺激分子の活性化因子、阻害分子の阻害剤、ワクチン、又は細胞療法の１つ以上から選択される、請求項４６に記載の使用のための抗体、又は請求項４６に記載の使用。
【請求項４８】
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、ＰＤ－１阻害剤である、請求項４６に記載の使用のための抗体又は請求項４６に記載の使用。
【請求項４９】
前記ＰＤ－１阻害剤が、ＰＤＲ００１、ニボルマブ、ペムブロリズマブ、ピディリズマブ、ＭＥＤＩ０６８０、ＲＥＧＮ２８１０、ＴＳＲ－０４２、ＰＦ－０６８０１５９１、又はＡＭＰ－２２４から選択される、請求項４８に記載の使用のための抗体、又は請求項４８に記載の使用。
【請求項５０】
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、ＰＤ－Ｌ１阻害剤である、請求項４６に記載の使用のための抗体、又は請求項４６に記載の使用。
【請求項５１】
前記ＰＤ－Ｌ１阻害剤が、ＦＡＺ０５３、アテゾリズマブ、アベルマブ、デュルバルマブ、又はＢＭＳ－９３６５５９から選択される、請求項５０に記載の使用のための抗体、又は請求項５０に記載の使用。
【請求項５２】
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、Ａ２ＡＲアンタゴニストであり、前記Ａ２ＡＲアンタゴニストが：
ｉ．抗ＣＤ７３抗体分子若しくはその抗原結合断片であって、場合により前記抗ＣＤ７３抗体は、以下：
ａ．配列番号２９５のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号２９６のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号２９５又は２９６と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｂ．配列番号２９９のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３００のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号２９９又は３００と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｃ．配列番号３０２のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０３のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０２又は３０３と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｄ．配列番号３０４のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０５のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０４又は３０５と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｅ．配列番号３０６のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０７のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０６又は３０７と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；又は
ｆ．配列番号３０８のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０９のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０８又は３０９と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
から選択される抗ＣＤ７３抗体分子若しくはその抗原結合断片、
又は

ｉｉ．ＰＢＦ５０９／ＮＩＲ１７８、ＣＰＩ４４４／Ｖ８１４４４、ＡＺＤ４６３５／ＨＴＬ－１０７１、ビパデナント、ＧＢＶ－２０３４、ＡＢ９２８、テオフィリン、イストラデフィリン、トザデナント／ＳＹＮ－１１５、ＫＷ－６３５６、ＳＴ－４２０６、及びプレラデナント／ＳＣＨ　４２０８１４；又は
ｉｉｉ．５－ブロモ－２，６－ジ－（１Ｈ－ピラゾール－１－イル）ピリミジン－４－アミン、又はその薬学的に許容される塩；（Ｓ）－７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、又はその薬学的に許容される塩；（Ｒ）－７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、又はそのラセミ体、又はその薬学的に許容される塩；７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、又はその薬学的に許容される塩；及び６－（２－クロロ－６－メチルピリジン－４－イル）－５－（４－フルオロフェニル）－１，２，４－トリアジン－３－アミン、又はその薬学的に許容される塩
から選択される、請求項４６～５１のいずれか一項に記載の使用のための抗体、又は請求項４６～５１のいずれか一項に記載の使用。
【請求項５３】
前記少なくとも１つの追加の治療薬が：
ｉ．ＣＴＬＡ－４阻害剤、場合により前記ＣＴＬＡ－４阻害剤は、イピリムマブ又はトレメリムマブから選択される；
ｉｉ．ＴＩＭ－３阻害剤、場合により前記ＴＩＭ－３阻害剤は、ＭＢＧ４５３、ＴＳＲ－０２２、又はＬＹ３３２１３６７から選択される；
ｉｉｉ．ＬＡＧ－３阻害剤、場合により前記ＬＡＧ－３阻害剤は、ＬＡＧ５２５、ＢＭＳ－９８６０１６、ＴＳＲ－０３３、ＭＫ－４２８０又はＲＥＧＮ３７６７から選択される；
ｉｖ．ＧＩＴＲ作動薬、場合により前記ＧＩＴＲ作動薬は、ＧＷＮ３２３、ＢＭＳ－９８６１５６、ＭＫ－４１６６、ＭＫ－１２４８、ＴＲＸ５１８、ＩＮＣＡＧＮ１８７６、ＡＭＧ　２２８、又はＩＮＢＲＸ－１１０から選択される；
ｖ．抗ＣＤ３多重特異性抗体分子、場合により前記抗ＣＤ３多重特異性抗体分子は、抗ＣＤ３ｘ抗ＣＤ１２３二重特異性抗体分子、又は抗ＣＤ３ｘ抗ＣＤ２０二重特異性抗体分子である；
ｖｉ．サイトカイン分子、場合により前記サイトカイン分子は、ＩＬ－１５受容体α（ＩＬ－１５Ｒａ）の可溶型と複合体化されたＩＬ－１５である；
ｖｉｉ．マクロファージコロニー－刺激因子（Ｍ－ＣＳＦ）阻害剤、場合により前記Ｍ－ＣＳＦ阻害剤は、ＭＣＳ１１０である；
ｖｉｉｉ．ＣＳＦ－１Ｒ阻害剤、場合により前記ＣＳＦ－１Ｒ阻害剤は、ＢＬＺ９４５である；
ｉｘ．インドールアミン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＩＤＯ）及び／又はトリプトファン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＴＤＯ）の阻害剤；
ｘ．ＴＧＦ－β阻害剤；
ｘｉ．腫瘍溶解性ウイルス；
ｘｉｉ．キメラ抗原受容体（ＣＡＲ）Ｔ細胞療法
から選択される、請求項４６に記載の使用のための抗体、又は請求項４６に記載の使用。
【請求項５４】
前記少なくとも１つの追加の治療薬は、１）タンパク質キナーゼＣ（ＰＫＣ）阻害剤；２）熱ショックタンパク質９０（ＨＳＰ９０）阻害剤；３）ホスホイノシチド３－キナーゼ（ＰＩ３Ｋ）及び／又はラパマイシンの標的（ｍＴＯＲ）の阻害剤；４）チトクロムＰ４

５０の阻害剤；５）鉄キレート化剤；６）アロマターゼ阻害剤；７）ｐ５３の阻害剤；８）アポトーシス誘発剤；９）血管新生阻害剤；１０）アルドステロンシンターゼ阻害剤；１１）スムーズンド（ＳＭＯ）受容体阻害剤；１２）プロラクチン受容体（ＰＲＬＲ）阻害剤；１３）Ｗｎｔシグナル伝達阻害剤；１４）ＣＤＫ４／６阻害剤；１５）線維芽細胞増殖因子受容体２（ＦＧＦＲ２）／線維芽細胞増殖因子受容体４（ＦＧＦＲ４）阻害剤；１６）マクロファージコロニー刺激因子（Ｍ－ＣＳＦ）阻害剤；１７）ｃ－ＫＩＴ、ヒスタミン放出、Ｆｌｔ３又はＰＫＣの１つ以上の阻害剤；１８）ＶＥＧＦＲ－２、ＰＤＧＦＲβ、ｃ－ＫＩＴ又はＲａｆキナーゼＣの１つ以上の阻害剤；１９）ソマトスタチン作動薬及び／又は成長ホルモン放出阻害剤；２０）未分化リンパ腫キナーゼ（ＡＬＫ）阻害剤；２１）インスリン様増殖因子１受容体（ＩＧＦ－１Ｒ）阻害剤；２２）Ｐ－糖タンパク質１阻害剤；２３）血管内皮増殖因子受容体（ＶＥＧＦＲ）阻害剤；２４）ＢＣＲ－ＡＢＬキナーゼ阻害剤；２５）ＦＧＦＲ阻害剤；２６）ＣＹＰ１１Ｂ２の阻害剤；２７）ＨＤＭ２阻害剤；２８）チロシンキナーゼの阻害剤；２９）ｃ－ＭＥＴの阻害剤；３０）ＪＡＫの阻害剤；３１）ＤＡＣの阻害剤；３２）１１β－ヒドロキシラーゼの阻害剤；３３）ＩＡＰの阻害剤；３４）ＰＩＭキナーゼの阻害剤；３５）ポーキュパインの阻害剤；３６）ＢＲＡＦ；３７）ＨＥＲ３の阻害剤；３８）ＭＥＫの阻害剤；又は３９）脂質キナーゼの阻害剤；又は表１６に提供される１つ以上の薬剤から選択される、請求項４６に記載の使用のための抗体、又は請求項４６に記載の使用。

【請求項５５】

対象における癌の処置における使用のための、請求項１～２８のいずれか一項に記載の抗体又は抗原結合断片を、ＰＤ－１阻害剤又はＰＤ－Ｌ１阻害剤から選択される第２の治療薬と組み合わせて含む組成物。

【請求項５６】

対象における癌の処置における使用のための組成物であって、前記組成物（ｃｏｍｐｏｓｉｓｔｉｏｎ）は、前記請求項１～２８のいずれか一項に記載の抗体又は抗原結合断片を、ＰＤ－１阻害剤又はＰＤ－Ｌ１阻害剤から選択される第２の治療薬と組み合わせて含む、組成物。

【請求項５７】

前記第２の治療薬がＰＤ－１阻害剤である、請求項５５又は５６に記載の組成物。

【請求項５８】

前記ＰＤ－１阻害剤がＰＤ－１抗体である、請求項５５又は５６に記載の組成物。

【請求項５９】

前記ＰＤ－１阻害剤が、ＰＤＲ００１、ニボルマブ、ペムブロリズマブ、ピディリズマブ、ＭＥＤＩ０６８０、ＲＥＧＮ２８１０、ＴＳＲ－０４２、ＰＦ－０６８０１５９１、又はＡＭＰ－２２４から選択される、請求項５５又は５６に記載の組成物。

【請求項６０】

前記第２の治療薬がＰＤ－Ｌ１阻害剤である、請求項５５又は５６に記載の組成物。

【請求項６１】

前記ＰＤ－Ｌ１阻害剤がＰＤ－Ｌ１抗体である、請求項５５又は５６に記載の組成物。

【請求項６２】

前記ＰＤ－Ｌ１阻害剤が、ＦＡＺ０５３、アテゾリズマブ、アベルマブ、デュルバルマブ、又はＢＭＳ－９３６５５９から選択される、請求項５５又は５６に記載の組成物。

【請求項６３】

前記癌がＥＮＴＰＤ２＋癌である、請求項５５又は５６に記載の組成物。

【請求項６４】

前記癌が、結腸直腸癌（ＣＲＣ）、胃癌、食道癌、膵癌、胆管癌、肺癌、乳癌、又は卵巣癌である、請求項５５又は５６に記載の組成物。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０９６６

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０９６６】
特定の態様及び特許請求の範囲が本明細書で詳細に開示されてきたが、これは例示のみを目的として例として行われたものであり、添付の特許請求の範囲、又は任意の対応する将来の出願の特許請求の範囲の主題の範囲に関して限定することを意図するものではない。特に、本発明者らは、特許請求の範囲によって定義される本開示の趣旨及び範囲から逸脱することなく、本開示に対して様々な置換、変更、及び修正を行うことができることを意図している。核酸出発物質、目的のクローン、又はライブラリー型の選択は、本明細書に記載される態様の知識を有する当業者にとって日常的な問題であると考えられる。他の態様、利点、及び修正は、以下の特許請求の範囲内にあると考えられる。当業者は、日常的な実験のみを用いて、本明細書に記載される本発明の特定の態様の多くの等価物を認識するか、又は確認することができる。このような等価物は、添付の特許請求の範囲に包含されるものとする。後に提出される対応する出願におけるクレームの範囲の再作成は、様々な国の特許法による制限に起因する場合があり、クレームの主題を放棄するものと解釈されるべきではない。
本発明は以下の態様を含み得る。
［１］
ヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に特異的に結合する抗体又はその抗原結合断片であって、前記抗体又はその抗原結合断片が、表１に提供される任意の抗体又は抗原結合断片の重鎖相補性決定領域１（ＨＣＤＲ１）、重鎖相補性決定領域２（ＨＣＤＲ２）、重鎖相補性決定領域３（ＨＣＤＲ３）、軽鎖相補性決定領域１（ＬＣＤＲ１）、軽鎖相補性決定領域２（ＬＣＤＲ２）、及び軽鎖相補性決定領域３（ＬＣＤＲ３）を含む、抗体又はその抗原結合断片。
［２］
前記ＨＣＤＲ１、ＨＣＤＲ２、ＨＣＤＲ３、ＬＣＤＲ１、ＬＣＤＲ２、及びＬＣＤＲ３が、表１に提供されるＨＣＤＲ１、ＨＣＤＲ２、ＨＣＤＲ３、ＬＣＤＲ１、ＬＣＤＲ２、及びＬＣＤＲ３配列から選択される、［１］に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［３］
前記抗体又はその抗原結合断片が、表１に提供される重鎖可変領域を含む、［１］又は［２］に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［４］
前記抗体又はその抗原結合断片が、表１に提供される軽鎖可変領域を含む、［１］～［３］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［５］
前記抗体又はその抗原結合断片が、以下の任意の１つ：
１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号５を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１９を含むＬＣＤＲ３配列；

３）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
４）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号３８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
５）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
６）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４４を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号４５を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５６を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
７）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号３８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６１を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
８）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
９）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４４を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号４５を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
１０）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：

配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号３８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
１１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
１２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号４４を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号５６を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
１３）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号８２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号８４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号９５を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９６を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号９７を含むＬＣＤＲ３配列；
１４）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号８５を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８６を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号８４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号９８を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１００を含むＬＣＤＲ３配列；
１５）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号８８を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８９を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号９０を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１０１を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号９７を含むＬＣＤＲ３配列；
１６）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１０６を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１０７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１０８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１１９を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１２０を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２１を含むＬＣＤＲ３配列；
１７）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１０９を含むＨＣＤＲ１配列、

配列番号１１０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１０８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１２２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２３を含むＬＣＤＲ３配列；
１８）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１１２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１１３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１１４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１２４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２１を含むＬＣＤＲ３配列；
１９）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１０６を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１２９を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１０８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１１９を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１２０を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２１を含むＬＣＤＲ３配列；
２０）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１０９を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１３０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１０８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１２２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２３を含むＬＣＤＲ３配列；
２１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１１２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１３１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１１４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１２４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号９９を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１２１を含むＬＣＤＲ３配列；
２２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１３６を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１３７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１３８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１４９を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５０を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１５１を含むＬＣＤＲ３配列；
２３）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１３９を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１４０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１３８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１５２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５３を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１５４を含むＬＣＤＲ３配列；
２４）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１４２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１４３を含むＨＣＤＲ２配列、

配列番号１４４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１５５を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５３を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１５１を含むＬＣＤＲ３配列；
２５）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１６０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１６１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１６２を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５０を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１７４を含むＬＣＤＲ３配列；
２６）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１６３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１６４を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１６２を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７５を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５３を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１７６を含むＬＣＤＲ３配列；
２７）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１６６を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号１６７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号１６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５３を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１７４を含むＬＣＤＲ３配列；
２８）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２２１を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６１を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
２９）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２２を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２２１を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
３０）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２２４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
３１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号３７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２０を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６８を含むＨＣＤＲ３配列、

配列番号６１を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５１を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
３２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４０を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２２を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６８を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６２を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５５を含むＬＣＤＲ３配列；
３３）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４３を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２２３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号６９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号６３を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号５４を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号５２を含むＬＣＤＲ３配列；
３４）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４５を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２４６を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２５４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号２５５を含むＬＣＤＲ３配列；
３５）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２４６を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号２５６を含むＬＣＤＲ３配列；
３６）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２４９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号２５５を含むＬＣＤＲ３配列；
３７）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号１を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２６１を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２６２を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２５４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
３８）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号４を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４７を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２６２を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、

配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１９を含むＬＣＤＲ３配列；
３９）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２４８を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２６３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
４０）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号２７２を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２７３を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２７４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２５４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号２８５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列；
４１）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号２７５を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２７６を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２７４を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号２８６を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１９を含むＬＣＤＲ３配列；
４２）以下を含む抗体又はその抗原結合断片：
配列番号２７８を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２７９を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号２８０を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号２８６を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列
から選択される、［１］又は［２］に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［６］
前記抗体又はその抗原結合断片が、以下の任意の１つ：
１）配列番号１０又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖可変領域（ＶＨ）、及び配列番号２１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖可変領域（ＶＬ）を含む抗体又はその抗原結合断片；
２）配列番号２５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
３）配列番号３３又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
４）配列番号４６又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号５７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
５）配列番号４６又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号６４又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
６）配列番号７０又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号７４又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗

原結合断片；
７）配列番号２５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号７８又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
８）配列番号９１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１０２又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
９）配列番号１１５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１２５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１０）配列番号１３２又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１２５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１１）配列番号１４５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１５６又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１２）配列番号１６９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号１７８又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１３）配列番号２２５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２２９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１４）配列番号２３３又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２３７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１５）配列番号２４１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２２９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１６）配列番号２５０又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２５７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；
１７）配列番号２６４又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２６８又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片；又は
１８）配列番号２８１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＨ、及び配列番号２８７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含むＶＬを含む抗体又はその抗原結合断片
から選択される、［１］～［５］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［７］
抗体又はその抗原結合断片が、以下の任意の１つ：
１）配列番号１２又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２３又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
２）配列番号２７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号３１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
３）配列番号３５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号３１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
４）配列番号４８又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号５９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
５）配列番号４８又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号６６又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；

６）配列番号７２又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号７６又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
７）配列番号２７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号８０又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
８）配列番号９３又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１０４又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
９）配列番号１１７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１２７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１０）配列番号１３４又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１２７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１１）配列番号１４７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１５８又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１２）配列番号１７１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号１８０又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１３）配列番号２２７又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２３１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１４）配列番号２３５又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２３９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１５）配列番号２４３又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２３１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１６）配列番号２５２又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２５９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；
１７）配列番号２６６又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２７０又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体；又は
１８）配列番号２８３又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖、及び配列番号２８９又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む抗体
から選択される、［１］～［６］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

［８］

前記抗体又はその抗原結合断片が：
配列番号１を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号２を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１４を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１５を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列
を含む、［１］～［７］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

［９］

前記抗体又はその抗原結合断片が：
配列番号４を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号５を含むＨＣＤＲ２配列、
配列番号３を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号１７を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１９を含むＬＣＤＲ３配列
を含む、［１］～［７］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

［１０］

前記抗体又はその抗原結合断片が：
配列番号７を含むＨＣＤＲ１配列、
配列番号８を含むＨＣＤＲ２配列、

配列番号９を含むＨＣＤＲ３配列、
配列番号２０を含むＬＣＤＲ１配列、
配列番号１８を含むＬＣＤＲ２配列、及び
配列番号１６を含むＬＣＤＲ３配列
を含む、［１］～［７］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

［１１］
前記抗体又はその抗原結合断片が、配列番号１０又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む重鎖可変領域（ＶＨ）、及び配列番号２１又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖可変領域（ＶＬ）を含む、［１］～［７］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

［１２］
前記抗体又はその抗原結合断片が、配列番号１２又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列、及び配列番号２３又はそれと少なくとも約９５％以上同一の配列を含む軽鎖を含む、［１］～［７］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

［１３］
前記抗体又はその抗原結合断片が、ヒトＥＮＴＰＤ２におけるエピトープに結合し、前記エピトープが、以下の残基：Ｈｉｓ５０、Ａｓｐ７６、Ｐｒｏ７８、Ｇｌｙ７９、Ｇｌｙ８０、Ｔｙｒ８５、Ａｓｐ８７、Ａｓｎ８８、Ｇｌｙ９１、Ｇｌｎ９４、Ｓｅｒ９５、Ｇｌｙ９８、Ｇｌｕ１０１、Ｇｌｎ１０２、Ｇｌｎ１０５、Ａｓｐ１０６、Ａｒｇ２４５、Ｔｈｒ２７２、Ｇｌｎ２７３、Ｌｅｕ２７５、Ａｓｐ２７８、Ａｒｇ２９８、Ａｌａ３４７、Ａｌａ３５０、Ｔｈｒ３５１、Ａｒｇ３９２、Ａｌａ３９３、Ａｒｇ３９４、又はＴｙｒ３９８の少なくとも１つを含む、［１］～［１２］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

［１４］
前記抗体又はその抗原結合断片が、ヒトＥＮＴＰＤ２におけるエピトープに結合し、前記エピトープが、以下の残基：Ｇｌｙ７９、Ｇｌｎ２５０、Ｌｅｕ２５３、Ｔｒｐ２６６、Ａｒｇ２６８、Ｇｌｙ２６９、Ｐｈｅ２７０、Ｓｅｒ２７１、Ｔｈｒ２７２、Ｇｌｎ２７３、Ｖａｌ２７４、Ｌｅｕ２７５、Ａｓｐ２７８、Ａｒｇ２９８、Ｓｅｒ３００、Ｓｅｒ３０２、Ｇｌｙ３０３、Ｔｈｒ３８０、Ｔｒｐ３８１、Ａｌａ３８２、Ｇｌｙ３９０、Ｇｌｎ３９１、Ａｒｇ３９２、Ａｌａ３９３、Ａｒｇ３９４、又はＡｓｐ３９７の少なくとも１つを含む、［１］～［１２］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。

［１５］
ヒトＥＮＴＰＤ２におけるエピトープに特異的に結合する抗体又はその抗原結合断片であって、前記エピトープが、以下の残基：Ｈｉｓ５０、Ａｓｐ７６、Ｐｒｏ７８、Ｇｌｙ７９、Ｇｌｙ８０、Ｔｙｒ８５、Ａｓｐ８７、Ａｓｎ８８、Ｇｌｙ９１、Ｇｌｎ９４、Ｓｅｒ９５、Ｇｌｙ９８、Ｇｌｕ１０１、Ｇｌｎ１０２、Ｇｌｎ１０５、Ａｓｐ１０６、Ａｒｇ２４５、Ｔｈｒ２７２、Ｇｌｎ２７３、Ｌｅｕ２７５、Ａｓｐ２７８、Ａｒｇ２９８、Ａｌａ３４７、Ａｌａ３５０、Ｔｈｒ３５１、Ａｒｇ３９２、Ａｌａ３９３、Ａｒｇ３９４、又はＴｙｒ３９８の少なくとも１つを含む、抗体又はその抗原結合断片。

［１６］
ヒトＥＮＴＰＤ２におけるエピトープに特異的に結合する抗体又はその抗原結合断片であって、前記エピトープが、以下の残基：Ｇｌｙ７９、Ｇｌｎ２５０、Ｌｅｕ２５３、Ｔｒｐ２６６、Ａｒｇ２６８、Ｇｌｙ２６９、Ｐｈｅ２７０、Ｓｅｒ２７１、Ｔｈｒ２７２、Ｇｌｎ２７３、Ｖａｌ２７４、Ｌｅｕ２７５、Ａｓｐ２７８、Ａｒｇ２９８、Ｓｅｒ３００、Ｓｅｒ３０２、Ｇｌｙ３０３、Ｔｈｒ３８０、Ｔｒｐ３８１、Ａｌａ３８２、Ｇｌｙ３９０、Ｇｌｎ３９１、Ａｒｇ３９２、Ａｌａ３９３、Ａｒｇ３９４、又はＡｓｐ３９７の少なくとも１つを含む、抗体又はその抗原結合断片。

［１７］
ヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に対する結合について、表１に提供される任意の抗体又は抗原結合断片と競合する、抗体又はその抗原結合断片。

［１８］
表１に提供される任意の抗体又は抗原結合断片のいずれかのエピトープと同じエピトープ、実質的に同じエピトープ、それと重複するエピトープ、それと実質的に重複するエピトープに結合する、抗体又はその抗原結合断片。
［１９］
前記抗体又はその抗原結合断片が、例えばＢｉａｃｏｒｅにより測定して、１０ｎＭ未満の解離定数（K_D）でヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に結合する、［１］～［１８］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２０］
前記抗体又はその抗原結合断片が、例えばＢｉａｃｏｒｅにより測定して、５ｎＭ未満の解離定数（K_D）でヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に結合する、［１］～［１８］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２１］
前記抗体又はその抗原結合断片が、例えばＢｉａｃｏｒｅにより測定して、３ｎＭ未満の解離定数（K_D）でヒトＥＮＴＰＤ２タンパク質に結合する、［１］～［１８］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２２］
前記抗体又はその抗原結合断片が、ヒトＥＮＴＰＤ２酵素活性を少なくとも４０％、少なくとも５０％、少なくとも６０％、少なくとも７０％、少なくとも８０％、又は少なくとも９０％阻害する、［１］～［２１］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２３］
前記抗体又はその抗原結合断片が、アデノシン三リン酸塩（ＡＴＰ）の加水分解のＥＮＴＰＤ２の能力を阻害する、［１］～［２２］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２４］
前記抗体又はその抗原結合断片が、ＥＮＴＰＤ２へのＡＴＰの結合を妨害し、又はＥＮＴＰＤ２の触媒ドメイン内にＡＴＰを捕捉する、［１］～［２３］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２５］
前記抗体が、ＩｇＧ１、ＩｇＧ２、ＩｇＧ３又はＩｇＧ４アイソタイプを有する、［１］～［２４］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２６］
前記抗体又はその抗原結合断片が、ＩｇＧ１　Ｆｃ領域、ＩｇＧ２　Ｆｃ領域、ＩｇＧ４　Ｆｃ領域、又はＩｇＧ２／ＩｇＧ４ハイブリッドＦｃ領域から選択されるＦｃ領域を含む、［１］～［２５］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２７］
前記抗体又はその抗原結合断片が、前記親抗体と比較して低下した抗体依存性細胞傷害（ＡＤＣＣ）又は補体依存性細胞傷害（ＣＤＣ）活性を有する改変されたＦｃ領域を含む、［１］～［２６］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２８］
前記抗体又はその抗原結合断片が、ヒト又はヒト化抗体又はその断片である、［１］～［２７］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片。
［２９］
［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片をコードする核酸又は核酸のセット。
［３０］
［２９］に記載の核酸又は核酸のセットを含むベクター。
［３１］
前記ベクターが、ＤＮＡベクター、ＲＮＡベクター、プラスミド、コスミド、又はウイ

ルスベクターから選択される、［３０］に記載のベクター。
［３２］
前記ベクターが、以下のウイルス：レンチウイルス、アデノウイルス、アデノ随伴ウイルス（ＡＡＶ）、単純ヘルペスウイルス（ＨＳＶ）、パルボウイルス、レトロウイルス、ワクシニアウイルス、シンビス（Ｓｉｎｂｉｓ）ウイルス、インフルエンザウイルス、レオウイルス、ニューカッスル病ウイルス（ＮＤＶ）、はしかウイルス、水疱性口内炎ウイルス（ＶＳＶ）、ポリオウイルス、ポックスウイルス、セネカバレー（Ｓｅｎｅｃａ Ｖａｌｌｅｙ）ウイルス、コクサッキーウイルス、エンテロウイルス、粘液腫ウイルス、又はマラバウイルスの任意の１つに基づくウイルスベクターである、［３１］に記載のベクター。
［３３］
前記ベクターがＡＡＶベクターである、［３２］に記載のベクター。
［３４］
前記ベクターがレンチウイルスベクターである、［３１］に記載のベクター。
［３５］
プロモーターをさらに含む、［３０］～［３４］のいずれか一項に記載のベクター。
［３６］
検出可能マーカーをさらに含む、［３０］～［３５］のいずれか一項に記載のベクター。
［３７］
２９に記載の核酸若しくは核酸のセット又は［３０］～［３６］のいずれか一項に記載のベクターを含む細胞。
［３８］
［３７］に記載の細胞を培養し、前記抗体又はその抗原結合断片を培養培地から収集することを含む、抗体又はその抗原結合断片の産生方法。
［３９］
［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片、［２９］に記載の核酸又は核酸のセット、［３０］～［３６］のいずれか一項に記載のベクター、又は［３７］に記載の細胞、及び薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。
［４０］
医薬としての使用のための、［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片、［２９］に記載の核酸又は核酸のセット、［３０］～［３６］のいずれか一項に記載のベクター、［３７］に記載の細胞、又は［３９］に記載の医薬組成物。
［４１］
癌の処置における使用のための、［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片、［２９］に記載の核酸、［３０］～［３６］のいずれか一項に記載のベクター、［３７］に記載の細胞、又は［３９］に記載の医薬組成物。
［４２］
癌の処置のための医薬の製造における、［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又はその抗原結合断片、［２９］に記載の核酸、［３０］～［３６］のいずれか一項に記載のベクター、［３７］に記載の細胞、又は［３９］に記載の医薬組成物の使用。
［４３］
前記癌が、ＥＮＴＰＤ２＋癌である、［４１］に記載の使用のための抗体、又は［４２］に記載の使用。
［４４］
前記癌が、結腸直腸癌（ＣＲＣ）、胃癌（例えば、胃腺癌、胃癌腫）、食道癌（例えば、食道扁平上皮癌（ＥＳＣＣ））、膵癌、胆管癌、肺癌（例えば、小細胞肺癌）、乳癌（例えば、乳腺癌）、又は卵巣癌である、［４１］に記載の使用のための抗体、又は［４２］に記載の使用。
［４５］
前記抗体又はその抗原結合断片、前記核酸又は核酸のセット、前記ベクター、前記細胞

、又は前記医薬組成物が、静脈内、腫瘍内又は皮下経路を介して前記対象に投与される、［４１］に記載の使用のための抗体、又は［４２］に記載の使用。
［４６］
前記抗体分子が、少なくとも１つの追加の治療薬又は手順と組み合わせて投与される、［４１］に記載の使用のための抗体、又は［４２］に記載の使用。
［４７］
前記少なくとも１つの追加の治療薬又は手順が、化学療法、標的化抗癌療法、腫瘍溶解性薬物、細胞毒性剤、免疫ベースの治療法、サイトカイン、外科手技、放射線療法、共刺激分子の活性化因子、阻害分子の阻害剤、ワクチン、又は細胞療法の１つ以上から選択される、［４６］に記載の使用のための抗体、又は［４６］に記載の使用。
［４８］
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、ＰＤ－１阻害剤、例えばＰＤ－１抗体である、［４６］に記載の使用のための抗体又は［４６］に記載の使用。
［４９］
前記ＰＤ－１阻害剤が、ＰＤＲ００１、ニボルマブ、ペムブロリズマブ、ピディリズマブ、ＭＥＤＩ０６８０、ＲＥＧＮ２８１０、ＴＳＲ－０４２、ＰＦ－０６８０１５９１、又はＡＭＰ－２２４から選択される、［４８］に記載の使用のための抗体、又は［４８］に記載の使用。
［５０］
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、ＰＤ－Ｌ１阻害剤、例えば、ＰＤ－Ｌ１抗体である、［４６］に記載の使用のための抗体、又は［４６］に記載の使用。
［５１］
前記ＰＤ－Ｌ１阻害剤が、ＦＡＺ０５３、アテゾリズマブ、アベルマブ、デュルバルマブ、又はＢＭＳ－９３６５５９から選択される、［５０］に記載の使用のための抗体、又は［５０］に記載の使用。
［５２］
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、Ａ２ＡＲアンタゴニストであり、前記Ａ２ＡＲアンタゴニストが：
ｉ．抗ＣＤ７３抗体分子若しくはその抗原結合断片であって、場合により前記抗ＣＤ７３抗体は、以下：
ａ．配列番号２９５のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号２９６のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号２９５又は２９６と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｂ．配列番号２９９のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３００のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号２９９又は３００と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｃ．配列番号３０２のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０３のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０２又は３０３と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｄ．配列番号３０４のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０５のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０４又は３０５と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｅ．配列番号３０６のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０７のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０６又は３０７と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；又は
ｆ．配列番号３０８のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０９のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０８又は３０９と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
から選択される抗ＣＤ７３抗体分子若しくはその抗原結合断片、
又は

ｉｉ．ＰＢＦ５０９／ＮＩＲ１７８、ＣＰＩ４４４／Ｖ８１４４４、ＡＺＤ４６３５／ＨＴＬ－１０７１、ビパデナント、ＧＢＶ－２０３４、ＡＢ９２８、テオフィリン、イストラデフィリン、トザデナント／ＳＹＮ－１１５、ＫＷ－６３５６、ＳＴ－４２０６、及びプレラデナント／ＳＣＨ　４２０８１４；又は

ｉｉｉ．５－ブロモ－２，６－ジ－（１Ｈ－ピラゾール－１－イル）ピリミジン－４－アミン、又はその薬学的に許容される塩；（Ｓ）－７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、又はその薬学的に許容される塩；（Ｒ）－７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、又はそのラセミ体、又はその薬学的に許容される塩；７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、又はその薬学的に許容される塩；及び６－（２－クロロ－６－メチルピリジン－４－イル）－５－（４－フルオロフェニル）－１，２，４－トリアジン－３－アミン、又はその薬学的に許容される塩

から選択される、［４６］～［５１］のいずれか一項に記載の使用のための抗体、又は［４６］～［５１］のいずれか一項に記載の使用。

［５３］

前記少なくとも１つの追加の治療薬が：

ｉ．ＣＴＬＡ－４阻害剤、場合により前記ＣＴＬＡ－４阻害剤は、イピリムマブ又はトレメリムマブから選択される；

ｉｉ．ＴＩＭ－３阻害剤、場合により前記ＴＩＭ－３阻害剤は、ＭＢＧ４５３、ＴＳＲ－０２２、又はＬＹ３３２１３６７から選択される；

ｉｉｉ．ＬＡＧ－３阻害剤、場合により前記ＬＡＧ－３阻害剤は、ＬＡＧ５２５、ＢＭＳ－９８６０１６、ＴＳＲ－０３３、ＭＫ－４２８０又はＲＥＧＮ３７６７から選択される；

ｉｖ．ＧＩＴＲ作動薬、場合により前記ＧＩＴＲ作動薬は、ＧＷＮ３２３、ＢＭＳ－９８６１５６、ＭＫ－４１６６、ＭＫ－１２４８、ＴＲＸ５１８、ＩＮＣＡＧＮ１８７６、ＡＭＧ　２２８、又はＩＮＢＲＸ－１１０から選択される；

ｖ．抗ＣＤ３多重特異性抗体分子、場合により前記抗ＣＤ３多重特異性抗体分子は、抗ＣＤ３ｘ抗ＣＤ１２３二重特異性抗体分子（例えば、ＸＥＮＰ１４０４５）、又は抗ＣＤ３ｘ抗ＣＤ２０二重特異性抗体分子（例えば、ＸＥＮＰ１３６７６）である；

ｖｉ．サイトカイン分子、場合により前記サイトカイン分子は、ＩＬ－１５受容体α（ＩＬ－１５Ｒａ）の可溶型と複合体化されたＩＬ－１５である；

ｖｉｉ．マクロファージコロニー－刺激因子（Ｍ－ＣＳＦ）阻害剤、場合により前記Ｍ－ＣＳＦ阻害剤は、ＭＣＳ１１０である；

ｖｉｉｉ．ＣＳＦ－１Ｒ阻害剤、場合により前記ＣＳＦ－１Ｒ阻害剤は、ＢＬＺ９４５である；

ｉｘ．インドールアミン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＩＤＯ）及び／又はトリプトファン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＴＤＯ）の阻害剤；

ｘ．ＴＧＦ－β阻害剤；

ｘｉ．腫瘍溶解性ウイルス；

ｘｉｉ．キメラ抗原受容体（ＣＡＲ）Ｔ細胞療法

から選択される、［４６］に記載の使用のための抗体、又は［４６］に記載の使用。

［５４］

前記少なくとも１つの追加の治療薬は、１）タンパク質キナーゼＣ（ＰＫＣ）阻害剤；２）熱ショックタンパク質９０（ＨＳＰ９０）阻害剤；３）ホスホイノシチド３－キナーゼ（ＰＩ３Ｋ）及び／又はラパマイシンの標的（ｍＴＯＲ）の阻害剤；４）チトクロムＰ

４５０の阻害剤（例えば、ＣＹＰ１７阻害剤又は１７α－ヒドロキシラーゼ／Ｃ１７－２０リアーゼ阻害剤）；５）鉄キレート化剤；６）アロマターゼ阻害剤；７）ｐ５３の阻害剤、例えばｐ５３／Ｍｄｍ２相互作用の阻害剤；８）アポトーシス誘発剤；９）血管新生阻害剤；１０）アルドステロンシンターゼ阻害剤；１１）スムーズンド（ＳＭＯ）受容体阻害剤；１２）プロラクチン受容体（ＰＲＬＲ）阻害剤；１３）Ｗｎｔシグナル伝達阻害剤；１４）ＣＤＫ４／６阻害剤；１５）線維芽細胞増殖因子受容体２（ＦＧＦＲ２）／線維芽細胞増殖因子受容体４（ＦＧＦＲ４）阻害剤；１６）マクロファージコロニー刺激因子（Ｍ－ＣＳＦ）阻害剤；１７）ｃ－ＫＩＴ、ヒスタミン放出、Ｆｌｔ３（例えば、ＦＬＫ２／ＳＴＫ１）又はＰＫＣの１つ以上の阻害剤；１８）ＶＥＧＦＲ－２（例えば、ＦＬＫ－１／ＫＤＲ）、ＰＤＧＦＲβ、ｃ－ＫＩＴ又はＲａｆキナーゼＣの１つ以上の阻害剤；１９）ソマトスタチン作動薬及び／又は成長ホルモン放出阻害剤；２０）未分化リンパ腫キナーゼ（ＡＬＫ）阻害剤；２１）インスリン様増殖因子１受容体（ＩＧＦ－１Ｒ）阻害剤；２２）Ｐ－糖タンパク質１阻害剤；２３）血管内皮増殖因子受容体（ＶＥＧＦＲ）阻害剤；２４）ＢＣＲ－ＡＢＬキナーゼ阻害剤；２５）ＦＧＦＲ阻害剤；２６）ＣＹＰ１１Ｂ２の阻害剤；２７）ＨＤＭ２阻害剤、例えば前記ＨＤＭ２－ｐ５３相互作用の阻害剤；２８）チロシンキナーゼの阻害剤；２９）ｃ－ＭＥＴの阻害剤；３０）ＪＡＫの阻害剤；３１）ＤＡＣの阻害剤；３２）１１β－ヒドロキシラーゼの阻害剤；３３）ＩＡＰの阻害剤；３４）ＰＩＭキナーゼの阻害剤；３５）ポーキュパインの阻害剤；３６）ＢＲＡＦ、例えばＢＲＡＦ　Ｖ６００Ｅ又は野生型ＢＲＡＦの阻害剤；３７）ＨＥＲ３の阻害剤；３８）ＭＥＫの阻害剤；又は３９）脂質キナーゼの阻害剤；又は表１６に提供される１つ以上の薬剤から選択される、［４６］に記載の使用のための抗体、又は［４６］に記載の使用。

［５５］

処置を必要とする対象における癌の処置方法であって、前記方法は、治療有効量の［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又は抗原結合断片、［２９］に記載の核酸、［３０］～［３６］のいずれか一項に記載のベクター、［３７］に記載の細胞、又は［３９］に記載の医薬組成物を前記対象に投与することを含む、方法。

［５６］

前記癌が、ＥＮＴＰＤ２＋癌である、［５５］に記載の方法。

［５７］

前記癌が、結腸直腸癌（ＣＲＣ）、胃癌（例えば、胃腺癌、胃癌腫）、食道癌（例えば、食道扁平上皮癌（ＥＳＣＣ））、膵癌、胆管癌、肺癌（例えば、小細胞肺癌）、乳癌（例えば、乳腺癌）、又は卵巣癌である、［５５］に記載の方法。

［５８］

前記抗体又はその抗原結合断片、前記核酸又は核酸のセット、前記ベクター、前記細胞、又は前記医薬組成物が、静脈内、腫瘍内又は皮下経路を介して前記対象に投与される、［５５］～［５７］のいずれか一項に記載の方法。

［５９］

対象における免疫応答の刺激方法であって、前記方法は、［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又は抗原結合断片、［２９］に記載の核酸又は核酸のセット、［３０］～［３６］のいずれか一項に記載のベクター、［３７］に記載の細胞、又は［３９］に記載の医薬組成物を、前記免疫応答を刺激するのに有効な量で前記対象に投与することを含む、方法。

［６０］

少なくとも１つの追加の治療薬又は手順を前記対象に投与することをさらに含む、［５５］～［５９］のいずれか一項に記載の方法。

［６１］

前記１つ以上の追加のの治療薬又は処置は、化学療法、標的化抗癌療法、腫瘍溶解性薬物、細胞傷害性薬剤、免疫に基づく療法、サイトカイン、外科的処置、放射線処置、共刺激分子の活性化剤、阻害分子の阻害剤、ワクチン又は細胞療法の１つ以上から選択される

、［６０］に記載の方法。
［６２］
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、ＰＤ－１阻害剤、例えばＰＤ－１抗体である、［６０］に記載の方法。
［６３］
前記ＰＤ－１阻害剤が、ＰＤＲ００１、ニボルマブ、ペムブロリズマブ、ピディリズマブ、ＭＥＤＩ０６８０、ＲＥＧＮ２８１０、ＴＳＲ－０４２、ＰＦ－０６８０１５９１、又はＡＭＰ－２２４から選択される、６２に記載の方法。
［６４］
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、ＰＤ－Ｌ１阻害剤、例えば、ＰＤ－Ｌ１抗体である、６０に記載の方法。
［６５］
前記ＰＤ－Ｌ１阻害剤が、ＦＡＺ０５３、アテゾリズマブ、アベルマブ、デュルバルマブ、又はＢＭＳ－９３６５５９から選択される、６４に記載の方法。
［６６］
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、Ａ２ＡＲアンタゴニストであり、前記Ａ２ＡＲアンタゴニストが：
ｉ．抗ＣＤ７３抗体分子若しくはその抗原結合断片であって、場合により前記抗ＣＤ７３抗体は、以下：
ａ．配列番号２９５のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号２９６のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号２９５又は２９６と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｂ．配列番号２９９のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３００のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号２９９又は３００と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｃ．配列番号３０２のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０３のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０２又は３０３と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｄ．配列番号３０４のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０５のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０４又は３０５と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
ｅ．配列番号３０６のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０７のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０６又は３０７と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；又は
ｆ．配列番号３０８のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域及び配列番号３０９のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、又は配列番号３０８又は３０９と少なくとも８５％、９０％、９５％又はそれを超えて同一のアミノ酸配列を含む抗ＣＤ７３抗体分子；
から選択される抗ＣＤ７３抗体分子若しくはその抗原結合断片、
又は
ｉｉ．ＰＢＦ５０９／ＮＩＲ１７８、ＣＰＩ４４４／Ｖ８１４４４、ＡＺＤ４６３５／ＨＴＬ－１０７１、ビパデナント、ＧＢＶ－２０３４、ＡＢ９２８、テオフィリン、イストラデフィリン、トザデナント／ＳＹＮ－１１５、ＫＷ－６３５６、ＳＴ－４２０６、及びプレラデナント／ＳＣＨ　４２０８１４；又は
ｉｉｉ．５－ブロモ－２，６－ジ－（１Ｈ－ピラゾール－１－イル）ピリミジン－４－アミン、又はその薬学的に許容される塩；（Ｓ）－７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、又はその薬学的に許容される塩；（Ｒ）－７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、

又はそのラセミ体、又はその薬学的に許容される塩；７－（５－メチルフラン－２－イル）－３－（（６－（（（テトラヒドロフラン－３－イル）オキシ）メチル）ピリジン－２－イル）メチル）－３Ｈ－［１，２，３］トリアゾロ［４，５－ｄ］ピリミジン－５－アミン、又はその薬学的に許容される塩；及び６－（２－クロロ－６－メチルピリジン－４－イル）－５－（４－フルオロフェニル）－１，２，４－トリアジン－３－アミン、又はその薬学的に許容される塩
から選択される、［６０］に記載の方法。
［６７］
前記少なくとも１つの追加の治療薬が：
ｉ．ＣＴＬＡ－４阻害剤、場合により前記ＣＴＬＡ－４阻害剤は、イピリムマブ又はトレメリムマブから選択される；
ｉｉ．ＴＩＭ－３阻害剤、場合により前記ＴＩＭ－３阻害剤は、ＭＢＧ４５３、ＴＳＲ－０２２、又はＬＹ３３２１３６７から選択される；
ｉｉｉ．ＬＡＧ－３阻害剤、場合により前記ＬＡＧ－３阻害剤は、ＬＡＧ５２５、ＢＭＳ－９８６０１６、ＴＳＲ－０３３、ＭＫ－４２８０又はＲＥＧＮ３７６７から選択される；
ｉｖ．ＧＩＴＲ作動薬、場合により前記ＧＩＴＲ作動薬は、ＧＷＮ３２３、ＢＭＳ－９８６１５６、ＭＫ－４１６６、ＭＫ－１２４８、ＴＲＸ５１８、ＩＮＣＡＧＮ１８７６、ＡＭＧ　２２８、又はＩＮＢＲＸ－１１０から選択される；
ｖ．抗ＣＤ３多重特異性抗体分子、場合により前記抗ＣＤ３多重特異性抗体分子は、抗ＣＤ３ｘ抗ＣＤ１２３二重特異性抗体分子（例えば、ＸＥＮＰ１４０４５）、又は抗ＣＤ３ｘ抗ＣＤ２０二重特異性抗体分子（例えば、ＸＥＮＰ１３６７６）である；
ｖｉ．サイトカイン分子、場合により前記サイトカイン分子は、ＩＬ－１５受容体α（ＩＬ－１５Ｒａ）の可溶型と複合体化されたＩＬ－１５である；
ｖｉｉ．マクロファージコロニー－刺激因子（Ｍ－ＣＳＦ）阻害剤、場合により前記Ｍ－ＣＳＦ阻害剤は、ＭＣＳ１１０である；
ｖｉｉｉ．ＣＳＦ－１Ｒ阻害剤、場合により前記ＣＳＦ－１Ｒ阻害剤は、ＢＬＺ９４５である；
ｉｘ．インドールアミン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＩＤＯ）及び／又はトリプトファン２，３－ジオキシゲナーゼ（ＴＤＯ）の阻害剤；
ｘ．ＴＧＦ－β阻害剤；
ｘｉ．腫瘍溶解性ウイルス；
ｘｉｉ．キメラ抗原受容体（ＣＡＲ）Ｔ細胞療法
から選択される、［６０］に記載の方法。
［６８］
前記少なくとも１つの追加の治療薬は、１）タンパク質キナーゼＣ（ＰＫＣ）阻害剤；２）熱ショックタンパク質９０（ＨＳＰ９０）阻害剤；３）ホスホイノシチド３－キナーゼ（ＰＩ３Ｋ）及び／又はラパマイシンの標的（ｍＴＯＲ）の阻害剤；４）チトクロムＰ４５０の阻害剤（例えば、ＣＹＰ１７阻害剤又は１７α－ヒドロキシラーゼ／Ｃ１７－２０リアーゼ阻害剤）；５）鉄キレート化剤；６）アロマターゼ阻害剤；７）ｐ５３の阻害剤、例えばｐ５３／Ｍｄｍ２相互作用の阻害剤；８）アポトーシス誘発剤；９）血管新生阻害剤；１０）アルドステロンシンターゼ阻害剤；１１）スムーズンド（ＳＭＯ）受容体阻害剤；１２）プロラクチン受容体（ＰＲＬＲ）阻害剤；１３）Ｗｎｔシグナル伝達阻害剤；１４）ＣＤＫ４／６阻害剤；１５）線維芽細胞増殖因子受容体２（ＦＧＦＲ２）／線維芽細胞増殖因子受容体４（ＦＧＦＲ４）阻害剤；１６）マクロファージコロニー刺激因子（Ｍ－ＣＳＦ）阻害剤；１７）ｃ－ＫＩＴ、ヒスタミン放出、Ｆｌｔ３（例えば、ＦＬＫ２／ＳＴＫ１）又はＰＫＣの１つ以上の阻害剤；１８）ＶＥＧＦＲ－２（例えば、ＦＬＫ－１／ＫＤＲ）、ＰＤＧＦＲβ、ｃ－ＫＩＴ又はＲａｆキナーゼＣの１つ以上の阻害剤；１９）ソマトスタチン作動薬及び／又は成長ホルモン放出阻害剤；２０）未分化リンパ腫キナーゼ（ＡＬＫ）阻害剤；２１）インスリン様増殖因子１受容体（ＩＧＦ－１Ｒ）阻

害剤；２２）Ｐ－糖タンパク質１阻害剤；２３）血管内皮増殖因子受容体（ＶＥＧＦＲ）阻害剤；２４）ＢＣＲ－ＡＢＬキナーゼ阻害剤；２５）ＦＧＦＲ阻害剤；２６）ＣＹＰ１１Ｂ２の阻害剤；２７）ＨＤＭ２阻害剤、例えば前記ＨＤＭ２－ｐ５３相互作用の阻害剤；２８）チロシンキナーゼの阻害剤；２９）ｃ－ＭＥＴの阻害剤；３０）ＪＡＫの阻害剤；３１）ＤＡＣの阻害剤；３２）１１β－ヒドロキシラーゼの阻害剤；３３）ＩＡＰの阻害剤；３４）ＰＩＭキナーゼの阻害剤；３５）ポーキュパインの阻害剤；３６）ＢＲＡＦ、例えば、ＢＲＡＦ　Ｖ６００Ｅ又は野生型ＢＲＡＦの阻害剤；３７）ＨＥＲ３の阻害剤；３８）ＭＥＫの阻害剤；３９）脂質キナーゼの阻害剤；又は表１６に提供される１つ以上の薬剤から選択される、［６０］に記載の方法。

［６９］

［１］～［２４］のいずれか一項に記載の抗体又は抗原結合断片、［２５］に記載の核酸又は核酸のセット、［２６］～［３２］のいずれか一項に記載のベクター、［３３］に記載の細胞、又は［３５］に記載の医薬組成物が、前記少なくとも１つの追加の治療薬と同時に、その前に、又はその後に投与される、［６０］に記載の方法。

［７０］

前記抗体又はその抗原結合断片、前記核酸又は核酸のセット、前記ベクター、前記細胞、又は前記医薬組成物の投与は、以下の効果：

（ａ）前記対象における腫瘍又は病変部位中の増大した数のＣＤ４５＋ＣＤ４－ＣＤ８＋ＣＤ６９＋ＣＤ２５＋細胞；

（ｂ）前記対象における腫瘍又は病変部位中の増大した数のＣＤ４５＋ＣＤ８－ＣＤ４＋ＦＯＸＰ３－ＣＤ６９＋ＣＤ２５＋細胞；

（ｃ）前記対象における低下した血漿ＭＣＰ１又はＩＬ－１βレベル；又は

（ｄ）前記対象における腫瘍又は病変部位中の増大したＭＣＰ１レベル

の１つ以上を有する、［５５］～［６９］のいずれか一項に記載の方法。

［７１］

処置を必要とする対象における癌の処置方法であって、前記方法は、治療有効量の［１］～［２８］のいずれか一項に記載の前記抗体又は抗原結合断片を、ＰＤ－１阻害剤又はＰＤ－Ｌ１阻害剤から選択される第２の治療薬と組み合わせて前記対象に投与することを含む、方法。

［７２］

対象における癌の免疫応答の刺激方法であって、前記方法は、［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又は抗原結合断片を、ＰＤ－１阻害剤又はＰＤ－Ｌ１阻害剤から選択される第２の治療薬と組み合わせて前記対象に投与することを含む、方法。

［７３］

対象における癌の処置における使用のための、［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又は抗原結合断片を、ＰＤ－１阻害剤又はＰＤ－Ｌ１阻害剤から選択される第２の治療薬と組み合わせて含む組成物。

［７４］

対象における癌の処置における使用のための組成物であって、前記組成物（ｃｏｍｐｏｓｉｓｔｉｏｎ）は、前記［１］～［２８］のいずれか一項に記載の抗体又は抗原結合断片を、ＰＤ－１阻害剤又はＰＤ－Ｌ１阻害剤から選択される第２の治療薬と組み合わせて含む、組成物。

［７５］

前記第２の治療薬がＰＤ－１阻害剤である、［７１］若しくは［７２］に記載の方法、又は［７３］若しくは［７４］に記載の組成物。

［７６］

前記ＰＤ－１阻害剤がＰＤ－１抗体である、［７１］若しくは［７２］に記載の方法、又は［７３］若しくは［７４］に記載の組成物。

［７７］

前記ＰＤ－１阻害剤が、ＰＤＲ００１、ニボルマブ、ペムブロリズマブ、ピディリズマ

ブ、ＭＥＤＩ０６８０、ＲＥＧＮ２８１０、ＴＳＲ－０４２、ＰＦ－０６８０１５９１、又はＡＭＰ－２２４から選択される、［７１］若しくは［７２］に記載の方法、又は［７３］若しくは［７４］に記載の組成物。

［７８］

前記第２の治療薬がＰＤ－Ｌ１阻害剤である、［７１］若しくは［７２］に記載の方法、又は［７３］若しくは［７４］に記載の組成物。

［７９］

前記ＰＤ－Ｌ１阻害剤がＰＤ－Ｌ１抗体である、［７１］若しくは［７２］に記載の方法、又は［７３］若しくは［７４］に記載の組成物。

［８０］

前記ＰＤ－Ｌ１阻害剤が、ＦＡＺ０５３、アテゾリズマブ、アベルマブ、デュルバルマブ、又はＢＭＳ－９３６５５９から選択される、［７１］若しくは［７２］に記載の方法、又は［７３］若しくは［７４］に記載の組成物。

［８１］

前記癌がＥＮＴＰＤ２＋癌である、［７１］に記載の方法又は［７３］若しくは［７４］に記載の組成物。

［８２］

前記癌が、結腸直腸癌（ＣＲＣ）、胃癌（例えば、胃腺癌、胃癌腫）、食道癌（例えば、食道扁平上皮癌（ＥＳＣＣ））、膵癌、胆管癌、肺癌（例えば、小細胞肺癌）、乳癌（例えば、乳腺癌）、又は卵巣癌である、［７１］に記載の方法又は［７３］若しくは［７４］に記載の組成物。